アーバンホール　SANPO-MICHI is community paper.

2016 Vol.49

散歩道 さんぽみち

時の道草

通勤・通学で賑わう駅を降りるとすぐそこに江戸時代以前からの「時」が。

岡山市・庭瀬界隈

はつらつ人生『今日も元気で!』

今だからこそ、新しいことに挑戦。自分の中で、次の目標ができました。

ル.アールデクパージュ 主宰/装飾工芸作家

佐伯 真弓さん

耳より情報　岡山国際交流センター

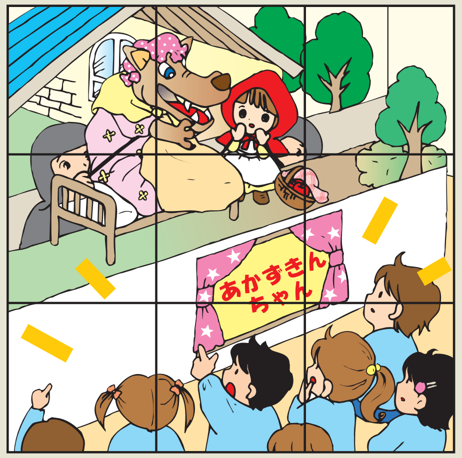
ごはんの時間⑤　活魚・鮨 海一

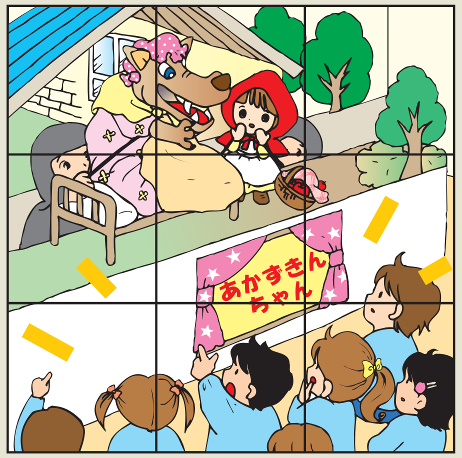
アーバンホール・コミュニケーションマガジン［さんぽみち］Vol.49
編集 発行／有限会社アーバンホール 倉敷市堀南805-1 TEL.086-426-7788 FAX.086-424-7474 ●2016年・1月発刊

無料 どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。

present

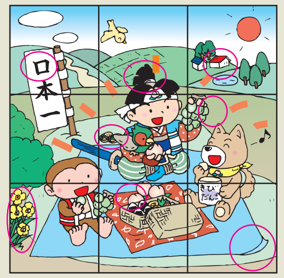
クイズ《間違い探し》





9コマのうち8コマに1つずつ間違いがあります。間違いのないコマを選んで、はがきまたはFAXでお送りください。ささやかながら抽選で粗品を進呈させていただきます。

A	B	C
D	E	F
G	H	I



Vol.48の答え（間違いのないコマ）は

D

表紙の風景

【岡山市・庭瀬界隈】

交通量の多い旧国道から一歩路地に入るだけで出会う数百年前の遺構。それだけでなくこの町には、古くから先人が残したものをそのまま現代の暮らしに生かし、歴史と共存して住まう稀有な文化が生きています。格子窓の古民家や石灯篭…。新しい物ばかりを追い求めているのがちょっと恥ずかしくなる、今回の庭瀬散歩でした。

編集後記

今回の『耳より情報』は、岡山駅西口から徒歩5分ほどの所にある岡山国際交流センターです。外国人の生活をサポートする施設であり、国際交流に関する催しや、海外を知るための講座なども開かれています。情報相談コーナーやカフェ、図書資料室は誰でも利用できるので、気軽に立ち寄ってみてください。

■申込み・お問い合わせはアーバンホールまで

アーバンホール URBAN HALL

お便りやお問い合わせ・間違い探しの回答はこちらまで。

〒710-0841 倉敷市堀南805-1　アーバンホール倉敷「散歩道」編集部
TEL 086-426-7788　FAX 086-424-7474

ご応募頂いた個人情報（住所・氏名・電話番号）は、アーバンホールが本企画に必要な連絡を行うために利用いたします。なお、個人情報についてはアーバンホールが責任を持って管理いたします。

http://www.urbanhall.co.jp　アーバンホール　検 索

堀南ホール
☎(086) 426-7788
倉敷市堀南805-1

老松ホール
☎(086) 430-2299
倉敷市老松町2-6-10

中庄ホール
☎(086) 425-9900
倉敷市中庄15-1

藤戸ホール
☎(086) 420-0440
倉敷市藤戸町天城607-1

福田ホール
☎(086) 450-2211
倉敷市東塚5-18-2

玉島ホール
☎(086) 523-1177
倉敷市玉島爪崎1073

児島ホール
☎(086) 474-9988
倉敷市児島駅前3-28

児島上の町ホール
☎(086) 472-7733
倉敷市児島上の町2丁目2-45

JA岡山指定店

岡南福吉ホール
☎(086) 902-1122
岡山市南区福吉町31-20

JA岡山指定店

岡山西市ホール
☎(086) 244-3377
岡山市南区米倉31-3

JA岡山指定店

西川原ホール
☎(086) 271-0011
岡山市中区西川原125-1

24時間体制

ホール使用料無料

光熱費無料

いつもの見慣れた風景に、新しい出会いをみつけたら、ちょっと元気が湧いてくる。そんな寄り道、してみませんか。

時（とき）の道草

通勤・通学で賑わう駅を降りると すぐそこに江戸時代以前からの「時」が。

岡山市・庭瀬界隈

新しい住宅街やアパートなども立ち並ぶJR庭瀬駅界隈。でもそこから歩いて10分ほどの撫川城跡は、戦国時代末に毛利方勢力の東端、対織田方（秀吉軍）との最前線となった場所。江戸時代にはこの城の二ノ丸、三ノ丸に徳川家臣となった戸川氏の庭瀬藩庁（陣屋）が置かれました。戸川氏はまず足守川べりの沼地にあった撫川城周辺に堀や水路を整え、道筋や家並みを造り、足守川と結ぶ川湊も整えました。ここから現在の庭瀬の歩みが始まります。

伝統的な町並み

江戸時代に二～三万石の陣屋町として栄えた庭瀬。岡山城下から放射状に整備された六往来のひとつ「庭瀬・鴨方往来」もその街中を通り、沿道には今も当時の面影を残す寺社や白壁の商家が点在します。またかつては、足守川から笹ケ瀬川を経て児島湾へと通じる法万寺川と支流の水路が町中をくねくね曲がりつつ流れ、さながら水郷のような景観でした。

旧庭瀬湊と常夜灯

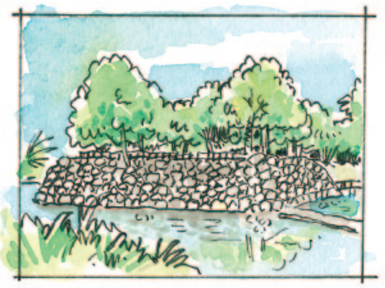
2009年に旧庭瀬往来沿いの町並み再生事業が完了。ほとんど埋め立てられていた旧庭瀬湊（内港）周辺に往時の風景が甦りました。水際には雁木（階段状の船着場）や常夜灯が設置され、石造のベンチで休憩できるように。かつては年貢米などがここから小船で足守川の河岸に運ばれ、そこで大型船に積み込まれて海路大阪に向かいました。

吉備・陵南 まちかど博物館

毎年11月にJR庭瀬駅北側一帯で開かれている「吉備・陵南　まちかど博物館」。庭瀬周辺の豊かな歴史・文化遺産を生かした古民家体験や撫川うちわの作製実演、昭和初期に使用された古民具や農機具、江戸時代のお駕籠展示などの催しが盛りだくさん。開催初日前日の夕刻には、庭瀬往来周辺の町並みを行灯で幻想的にライトアップ。飲食ブースも賑わいます。

撫川城址と庭瀬城址

「清山神社」が建つ庭瀬藩庁の跡を「庭瀬城址」と呼びます。庭瀬藩主・戸川氏には後継ぎがなく、延宝7年（1679）に庭瀬藩は4代で廃されました。しかし4代弟の戸川達富（みちとみ）に、幕府直参・旗本となって旧庭瀬藩撫川領を分割継承することが許され、達富は現在水堀で囲まれた「撫川城跡」付近に知行所（旗本の領地事務所）を置き、江戸で暮らしました。旧庭瀬藩はその後、天領などを経て元禄12年（1699）より板倉家11代が治めました。



撫川城址

庭瀬城址

撫川うちわ

撫川城址すぐ南に岡山県の伝統的工芸品「撫川うちわ」を第二次大戦後に復興した故・坂野定香さん、次香さん親子の居宅があります。この撫川うちわは、江戸時代中頃、庭瀬藩士が生活の糧のために作り始めたもので、俳句の仮名を切り重ねて模様にした「歌継ぎ」や花鳥風月の透かし模様など、繊細で涼しげ。岡山市吉備公民館で、うちわ作りの講座も開かれています。

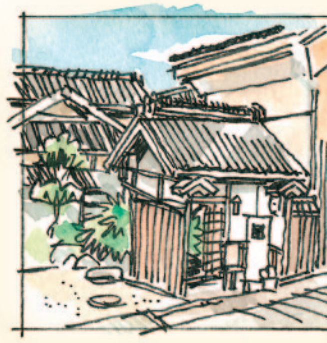
マンホールのふたにも
うちわの模様が

「器好きにうれしい話題・3つ」

ゆくり

築100年になろうかという古民家。店主が北海道から九州まで作家さんを訪ねて集めた素朴な和食器やガラス作品が、空間に溶け込んで展示、販売されています。作品の一つひとつに作家さんの人柄が感じられるような紹介を心がけ、料理と器、花と器といった、暮らしを楽しむための企画展も随時開かれています。人と器、人と人との良い出会いを願って、古語で「人の縁」を意味する「ゆくり」を店名にしたそうです。

営業／木・金・日曜11時～16時
駐車場／有
※企画展の準備等で臨時休業があるため、来店の際は電話を
（050-5586-6675）



器と暮らしの道具 藁（わら）の家（や）

JR庭瀬駅の南口から徒歩数分。住宅街の中に、ガレージの一角を改装して3年前にオープンしました。ナチュラルで、ノスタルジックモダンな器やカトラリー、水差しなど、店主が「自ら魅力が語れるものを置きたい。」という気持ちでセレクトしています。素朴な風合いの南蛮手や備前焼の窯元を度々訪ねて取材された時のエピソードなど、店主とのお話も楽しい。ここだけ時間がゆっくりと流れる隠れ家のような素敵な空間です。

営業／水・木曜13時～17時
駐車場／有
※来店の際は電話を
（090-7787-3832）

庭瀬陶芸工房

陶芸、金継ぎ、今話題のポーセラーツなど、岡山では珍しい、様々なタイプの器の制作ができる工房です。未経験者のためには基礎的な技術が身に付くクラスがあります。電動ロクロをはじめ設備や道具も充実していて、経験者が自由制作に取り組むにも十分な環境。作家として活躍する先生が身近にいてアドバイスしてくれるので、安心して挑戦できそう。見学や体験もでき、自分の生活パターンに合わせた時間帯に気軽に通えます。

営業／日・水・土曜・第2、4週の金曜
　9時30分～16時30分
火曜・第1、3週の金曜
　13時30分～20時30分
定休日／月・木曜・祝日・第5週の一部
駐車場／有
※見学、体験希望の方は営業時間内に電話を（086-728-5675）

今だからこそ、新しいことに挑戦。自分の中で次の目標ができました。

ル.アールデクパージュ 主宰/装飾工芸作家 佐伯 真弓さん

自分の手でオリジナルを作り上げる楽しさ。

一つのことをこつこつとやり続けた人だからこそ、わかることがあります。佐伯さんは、デクパージュという〝装飾はり絵〟の手工芸に出会い、30年以上にわたって創作活動を続け、教室を主宰してきました。カルチャー教室や個人宅、また自宅ではシニア向けの教室を開いています。

「70代、80代の方も楽しんでいらっしゃいますよ。絵柄をはさみでカットしたり、構図を考えたりと、手先や頭を使うのがいいみたいですね。こちらで用意した作りやすい素材で作っても、楽しいと言われます。お孫さんに頼まれて作ったり。仕上げはお手伝いしますが、出来上がった作品はその人だけのものです。」

何でも簡単に作れたり、買えたりする今の時代ではなおさら、自分の手で時間をかけて作り、出来上がった時は嬉しく、趣味として長く続けている生徒さんも多いそうです。

アートやデザインへの興味が再び湧いて来て。

佐伯さんは独身時代、神戸でアパレルデザインを学び、大阪で服飾関係の仕事をしていましたが、結婚してからは専業主婦でした。

「父や兄がヨーロッパ旅行のお土産として買ってきてくれていたのがデクパージュでした。でもその時はよく知らなくて。結婚後、ホテルの展示会で作品を見たとき、記憶が結びついたんです。子どもが3歳になって少し手が離れたので、何かしたいなと思って、先生について勉強することにしました。」

佐伯さんが師事したのは、日本に初めてデクパージュの技法を紹介した先生で、単なる手工芸ではなく、アートに近いものとして創作するという考え方でした。そんな先生に魅かれ、やりたいことをみつけた佐伯さんは、学生時代を過ごした神戸で再び学び始めました。

時計など毎日の生活に欠かせない道具や飾りがデクパージュで明るくおしゃれになっていく。

最初は決められた教材で作っていましたが、始めて20年経った頃には、自分なりの作品を作ってみたいと思うようになりました。教えることを続けながらさらに10年。生徒さんと一緒に開く作品展は生徒さんの希望を反映させたものでなければならないと感じ、自分の創作活動の発表の場は独自に切り開いていこうと思うように。

「今までは、すべてが〝生徒さんのため〟という枠があって、自分が表に立つようなことには消極的でした。悩んだ時期もあったけど、60歳を過ぎて、もういいかな、と。自分が今までしてきたことを振り返り、そろそろ自分の中で何か達成感がほしいなと思ったんです。」

(上)バイオリンとそのケースに施した装飾。年数が経った道具や家具もデクパージュで再び美しい姿に生まれ変わる。

(左)息子さんが小学生の時に作った作品。制作に大がかりな道具は使わず、子どもから高齢者まで、気軽に取り組むことができる。

出会いを楽しんで新しい作品作りに挑戦。

教室は続けながら、自分自身の創作活動に力を入れていきたいと思い、最初に作ったのが、金箔をあしらった漆塗りを思わせる作品でした。もともとデクパージュは日本の漆に憧れてヨーロッパで広まった手工芸で、和テイストは以前から気になっていました。伝統工芸ではなく、現代アートとして和テイストのデクパージュをやっていきたいという思いが今、膨らんでいます。

２０１４年には岡山県美術家協会に入り、いろいろなジャンルの作家さんと出会い、世界が広がったそうです。後押ししてくださる先生もいて、２０１６年の春には公募展のアジア大会にも出品する予定です。

「参加することに意義があると思って。そこでもまた新しい出会いがあるでしょう。今までにも何度か新しいことに挑戦する機会はありましたが、自分はまだいいや、と避けてきたところがあります。でも今は、出品してダメでもいいからトライしたいなと思えます。」

一つのことを楽しみながらやり続けていると、フッと次のステップに進むきっかけを感じる瞬間があります。それまでの迷いが自然な形でほどけていき、前へ進もうと思える時。そんな希望に満ちた「時」が、今、佐伯さんに訪れています。

佐伯さんによる金箔をあしらった和テイストの小物入れ。ヨーロッパの人々の漆塗りへの憧れを彷彿とさせる作品。

■Profile 佐伯 真弓(さえき まゆみ)

結婚後、日本に初めてデクパージュを紹介した先生に師事し、岡山から神戸に通って技術を習得。教室や作品展を通じ、30年以上にわたってデクパージュの魅力を伝えている。2016年春には、公募展に初出品。教室での指導を続けながら、自身の創作活動を積極的に行っている。

日本への憧れが生んだヨーロッパの手工芸デクパージュ

17世紀のヨーロッパで生まれた“装飾はり絵”の技法。イタリアの家具職人が家具に装飾を施し、貴族の家に収めていたのが始まり。それに興味を持った貴族の女性たちの間に、簡素化された技術で名画を宝石箱などに装飾する趣味が広まりました。当時のヨーロッパでは日本の漆塗りに憧れがありましたが、高価で手に入らないため、ラッカーを塗り重ねることで仕上がりを模したと言われています。イギリスのビクトリア女王は熱心なコレクターとして知られています。その後、アメリカではさらに気軽に取り組めるデコパージュとなりました。アートに近い作品作りは“デクパージュ”と呼ばれます。

教室のご案内

山陽新聞カルチャープラザ・本部教室 デクパージュ(装飾はり絵)

初めてでも気軽に始められて、出来上がった作品は自分だけのオリジナル。
基礎技術を身に付けたら、自分の好きな絵柄で身近な物に装飾ができます。
小さな作品は1日講習で制作体験が可能。

■基礎コース／3か月6回 16,500円
■研究コース／3か月6回 19,500円

山陽新聞カルチャープラザ
〒700-8634 岡山県岡山市北区柳町2-1-1
TEL:086-803-8017 FAX:086-803-8117
http://santa.sanyo.oni.co.jp/culture/

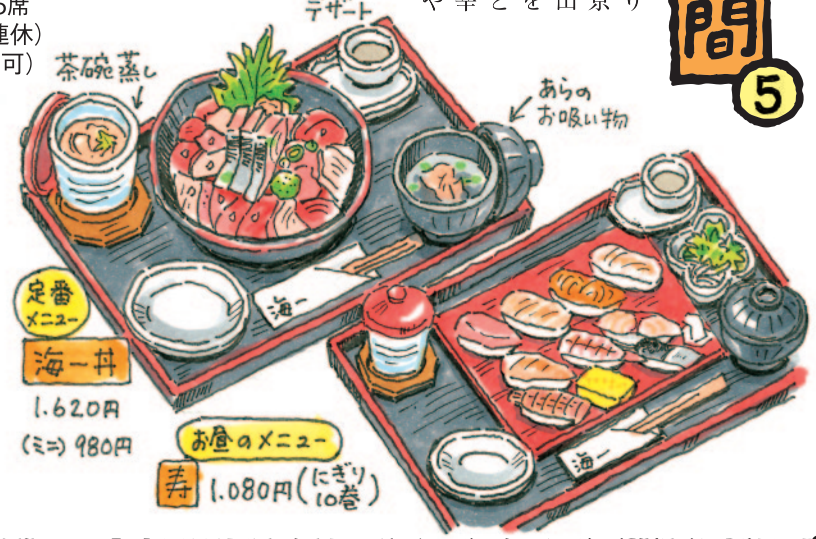
ガラス、木、陶器など、装飾するものは素材を選ばない。気に入った絵柄や自分で描いた絵を切り抜き、配置を考えて貼り付け、上から何度もラッカーを塗り重ねていく。

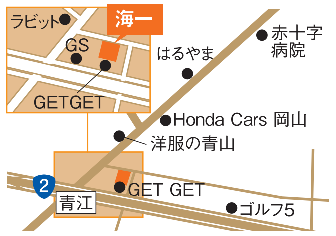
イラストレーター藤井が行く ちょっと寄り道 ごはんの時間 5

「堅苦しくない雰囲気の中でおいしい寿司をしっかり食べてもらいたい。」と7年前に開店。もともと東京の寿司店で握っていたご主人が、常連になった岡山からのお客さんとご縁を結び、この地で自分の店を開くことに。「気軽に江戸前寿司が楽しめる店」と噂になり、昼はお手頃なランチセット、夜は海の幸いっぱいのコースを目当てに、遠方からのお客さんやリピーターが通います。

岡山市北区青江5丁目25-7
□TEL:086-238-3991
□営業時間:昼11:00～13:30 OS
夜17:00～20:30 OS 25席
□定休日:月曜日(月1回、月・火曜日が連休)
□駐車場:有(パチンコ店駐車場も利用可)

オープン当初、破格値で話題になった『海一丼』は、料金改定されましたが今も人気。握り、丼ともに、ネタはその日、その時に美味しいものを提供するため、内容が変わります。夜の食事は要予約で、会食では予算に合わせて料理が相談でき、鍋料理にも対応。
http://ameblo.jp/umide1ban/





2015年12月取材

ロイヤルカード会員募集中

年会費・月会費 一切不要

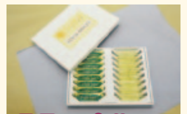
お供物・花環からギフトや法要商品・仏壇・墓石等、割引特典がいっぱい!!(三親等の範囲で適用になります。)

5,000円のみ

入会金1回限り

入会特典

オリジナルエンディングノート



スティックハニー

QUOカード

ただいまご入会いただいた方には上記のうちいずれか1点をプレゼント!
※写真はイメージです。

●祭壇セット 10%割引(祭壇セット料金30万円から適用)
●ホール使用料・光熱費 無料(式場・控室・通夜室)
●花環 20%割引 ●生花・盛籠等 10%割引(他社の自宅葬の場合でも割引可)
●葬儀の際に入会金5千円は葬儀費用に充当5千円割引
●ギフト・法要/商品券1万円 仏壇・仏具/商品券1万円
(祭壇セット料金30万円から適用、葬儀後にご利用できます)
●法要祭壇(生花・果物付)20%割引例)仏式祭壇 30,000円→24,000円(一升餅もサービス)
●ギフト商品を通常割引より5%割引(中元・歳暮・内祝・満中陰志・粗供養品※一部除く)
●病院・施設・自宅からの寝台車搬送(倉敷市・岡山市)
●葬儀の際のおしぼり・献茶等 サービス
●仏壇・仏具・墓石 5～20%割引(中原三法堂全店)
●その他、指定店での割引や優待があります。※全て税抜き価格表示です

すでに他社の会員になっておられる方でもどうぞご相談ください。

互助会や他社の会員の方がアーバンホールを利用される場合 → 解約手数料は当社が負担いたします!!

世界への窓口。岡山県の国際交流拠点を訪ねてみよう。

岡山国際交流センター

日本を訪れる外国人観光客は年々増加し、岡山の街を歩いていても外国人を見かけることが多くなってきました。今回は、だれもが利用でき、日本のこと、海外のことをもっと知って、楽しむためのスポットをご紹介します。

県内の観光パンフレットやNPO・NGO・JICA関連の資料、留学ガイドなどが揃っている。掲示板にはイベント情報も。

1F 情報相談コーナー

常駐スタッフに、海外情報や国際交流・協力などについて相談することができます。外国人の皆さんには、観光や生活に関する情報提供、相談をおこなっています。電話、ファックス、メールでも対応しています。

日本語教室で学ぶ利用者さんとスタッフの皆さん

4F 図書資料室

海外を知るための豊富な書籍、新聞、雑誌、CD、DVD、ビデオ、日本語や外国語学習に関するもの、日本文化や海外事情の紹介に役立つ資料などが自由に閲覧できます。

エレベーターで直接4階へ。
和書約10,000冊、洋書約2,000冊を所蔵し、外国語の新聞や雑誌も充実。

年間通じてイベントや講座を開催!

「留学生と県民との交流会」「岡山を知ろうバスツアー」「英語による絵本の読み聞かせ会」など、だれでも参加できるイベントが開催されています。また、国際協力・貢献活動に関するセミナーやフェアも。

●ブラジル料理de交流会

●第1回「岡山のCOOL発見!」

料理教室や語学講座、外国の文化を学ぶ交流会など海外を身近に感じるイベントや講座が年間を通じて開かれている。

ボランティアから始める国際交流

情報相談コーナーと図書資料室では、ボランティアさんが活動しています。希望により、週1回、3時間程度から、定期的に通えます。その他のボランティアも、登録しておくと必要になった時に募集のメールが届きます。

【その他のボランティア】
●通訳・翻訳 ●日本語指導
●日本文化紹介 ●外国紹介
●イベント補助
●ホームステイ、ホームビジット受入家庭

情報相談コーナーでスタッフの仕事を補助する。国際理解に関する研修会もあり、学べることが多い。現在約200名が登録。

アドバイス 岡山国際交流センター

2015年に開館20周年を迎えた国際交流の拠点。イベントや講座を通じて、外国人との交流、国際貢献活動、地域の国際化推進などを応援する施設です。1階ロビーや情報相談コーナー、カフェ、図書資料室は出入り自由で、交流サロンや会議室、ホールなどは有料で借りることができます。B1階は岡山市パスポートセンター。

会員になると各種特典が利用できます!

【会員の特典】
●会報誌『おかやま国際交流』(年4回)の送付
●協会事業等の情報をメールで提供
●語学講座「韓国語講座」「中国語講座」の受講料を割引
●イベントへの参加費を割引
●会員限定イベントに参加

【会費】●個人会員の場合/年会費 2,000円

■お問い合わせ・入会申し込み

岡山国際交流センター
一般財団法人 岡山県国際交流協会
〒700-0026
岡山市北区奉還町2-2-1
TEL:086-256-2000
FAX:086-256-2226
http://www.opief.or.jp/

●開館時間
国際交流センター 9:00～21:00
情報相談コーナー 9:00～17:00(日曜休み)
図書資料室 10:00～19:00(日曜休み)
●休館日/12月29日～1月3日